

## 宮城県初となるESG債の発行について

### 1 目的

SDGsの取組に対する理解促進を図るほか、金融市場におけるESG投資への関心の高まり等の市場ニーズを捉えることで、本県の投資家層拡大による将来にわたった安定的な資金調達を図るもの。

### 2 概要

ESG債は、環境問題の解決に向けたグリーンプロジェクト、海洋保護や持続可能な漁業等に向けたブループロジェクト、社会課題の解決に向けたソーシャルプロジェクトへの資金を調達するために発行するものであり、本県はこれらに調達資金を充当するサステナビリティボンドを発行する。

なお、サステナビリティボンドは東北地方で初めての発行となるもの。

宮城県公募公債第1回1号（5年・サステナビリティボンド）		
年 限	5年（満期一括償還）	
発 行 額	100億円	
発 行 時 期	令和5年10月以降	
引 受 会 社	大和証券株式会社、みずほ証券株式会社、野村證券株式会社	

### 3 充当予定事業

グリーン適格プロジェクト分類	対象プロジェクト
クリーン輸送	地域鉄道事業者の車両更新に対する補助
エネルギー効率	県有施設・設備の更新・改修
気候変動への適応	河川改修等、ダム建設、農業農村整備、治山、土砂災害対策
生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理	造林等
ブルーファイナンス分野	対象プロジェクト
漁業・養殖業・水産物のバリューチェーン／生物自然資源及び土地利用に係る環境維持型管理	閉鎖循環式陸上養殖研究施設の建設
海洋生態系の復元／陸上及び水生生物の多様性の保全	藻場造成
ソーシャル適格プロジェクト分類	対象プロジェクト
手ごろな価格の基本的インフラ設備	県有施設・設備等の更新・改修、警察署の建設、交通安全施設等の整備、広域防災拠点の整備、港湾の整備
手ごろな価格の住宅	県営住宅の改修等
必要不可欠なサービスへのアクセス	県立学校施設の整備、障がい者・高齢者支援施設の整備
社会経済的向上とエンパワーメント	文化施設改修事業

### 4 第三者機関による評価

本債券の発行に当たり、調達資金の用途等を明記した発行の枠組みとして「宮城県サステナビリティファイナンス・フレームワーク」を策定し、第三者機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）より、国債資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則2021及びサステナビリティボンド・ガイドライン2021等への適合性について、本日付けで評価を受けた。